

～ 医療法人わかば会のケア情報誌 ～

わかば倶楽部

✓ 平成 29 年 10 月 1 日より

地域包括ケア病棟へ転換

✓ 地域包括ケア病棟の役割

✓ グループホームわかば敬老会

October
2017

Vo.78
10月号

編集・発行／医療法人わかば会
〒857-0016 佐世保市俵町 22-1
Tel 0956-22-6548 Fax 0956-24-7270
<http://www.wakabakai.or.jp>



里山療法 十文野町へ栗ひろい

● 10月には神無月、語源は神を祭る月であることから「神の月」とする説が有力とされ、「無」は「水無月」と同じく「の」を意味する格助詞「な」です。中世の俗説には、10月に全国の神々が出雲大社に集まり、諸国に神がいなくなることから「神無月」になったとする説があり、出雲国（現島根県）では反対に「神在月」（かみありづき）と呼ばれるそうです。その他の説では、雷の鳴らない月で「雷無月（かみなしづき）」が転じたとする説や、新穀で酒を醸す月なので「醸成月（かみなしづき）」が転じたとする説があるそうです。

里山レシピのご紹介 かぼちゃの あっさりプリン 1人分 65Kcal



牛乳を使わないあっさりとしたプリンです。かぼちゃとココナッツミルクは栄養相性がよく、かぼちゃのβ-カロテンがココナッツミルクの脂肪分で吸収されやすくなります。また、かぼちゃと寒天の食物繊維には、血糖値の上昇を抑えてコレステロールの吸収を妨げる働きがあります。ゼラチンからコラーゲンも補える、肌にも嬉しいおやつです。

材料 直径14cmのケーキ方（約8人分）

プリン

- 水・・・・・・・・大さじ1
- 粉ゼラチン・・・・・・・・小さじ1
- A { 水・・・・・・・・カップ1弱
- 粉寒天・・・・・・・・小さじ1/2
- 卵・・・・・・・・1個
- 砂糖・・・・・・・・カップ1/2弱
- かぼちゃペースト・・・・・・・・かぼちゃ約1/4個分（正味200g）
- { 種と皮を除いたかぼちゃを蒸し、裏ごし又はミキサーにかけたもの
- バニラエッセンス・・・・・・・・適量

ココナッツソース

- ココナッツミルク・・大さじ2/3
- 牛乳・・・・・・・・大さじ2
- 砂糖・・・・・・・・小さじ1
- コーンスターチ・・・・・小さじ1/2

トッピング

- 茹でかぼちゃの皮・・・・・・・・適量
- 市販のかぼちゃの種・・・・・・・・8粒

作り方

- ① 水に粉ゼラチンをふり入れて10分ほどふやかしておく。
- ② 鍋にAを入れて混ぜ、火にかける。ひと煮立ちしたら火を止めて、熱いうちにざるでこしながら別の鍋にうつし、①と砂糖を加え混ぜて溶かす。
- ③ かぼちゃペーストを加えてよく混ぜ、バニラエッセンスを加えて型に流し入れ、冷蔵庫で冷やし固める。
- ④ ココナッツソースを作る。耐熱容器にソースの材料をすべて入れ、ラップをしないで電子レンジで約20秒加熱し、よく混ぜて冷蔵庫で冷やす（吹きこぼれに注意）。
- ⑤ かぼちゃプリンを型からはずし、1/8にカットして皿に盛り、④のソースをかけ、茹でかぼちゃの皮と市販のかぼちゃの種を飾る。

医療法人わかば会

● 俵町浜野病院 (Tel 0956-22-6548)

- 【医療】内科・外科・循環器科・呼吸器科・消化器科・整形外科
肛門科・リハビリテーション科
病室（地域包括ケア病棟26床・療養病棟38床）
- 【介護】居宅介護支援事業所・ヘルパーステーション
デイケアセンター・グループホーム・訪問看護ステーション

● 有料老人ホームわかばテラス (Tel 0956-76-8780)

- 【介護】デイサービス風祭り・デイサービス里山療法クラブ

● サービス付高齢者向け住宅わかばレジデンス (Tel 0956-22-6544)

- 【介護】小規模多機能ホームわかばレジデンス

● 有料老人ホームわかばハウス (Tel 0956-22-6535)

わかば会の理念

wakaba-gokoro
わかばこころ

和

和をもって、一人ひとりの施設づくり

環

環になって、患者さまとの健康づくり

話

話によって、みんなで育む関係づくり

地域包括ケア病棟の役割



急性期からの受け入れ

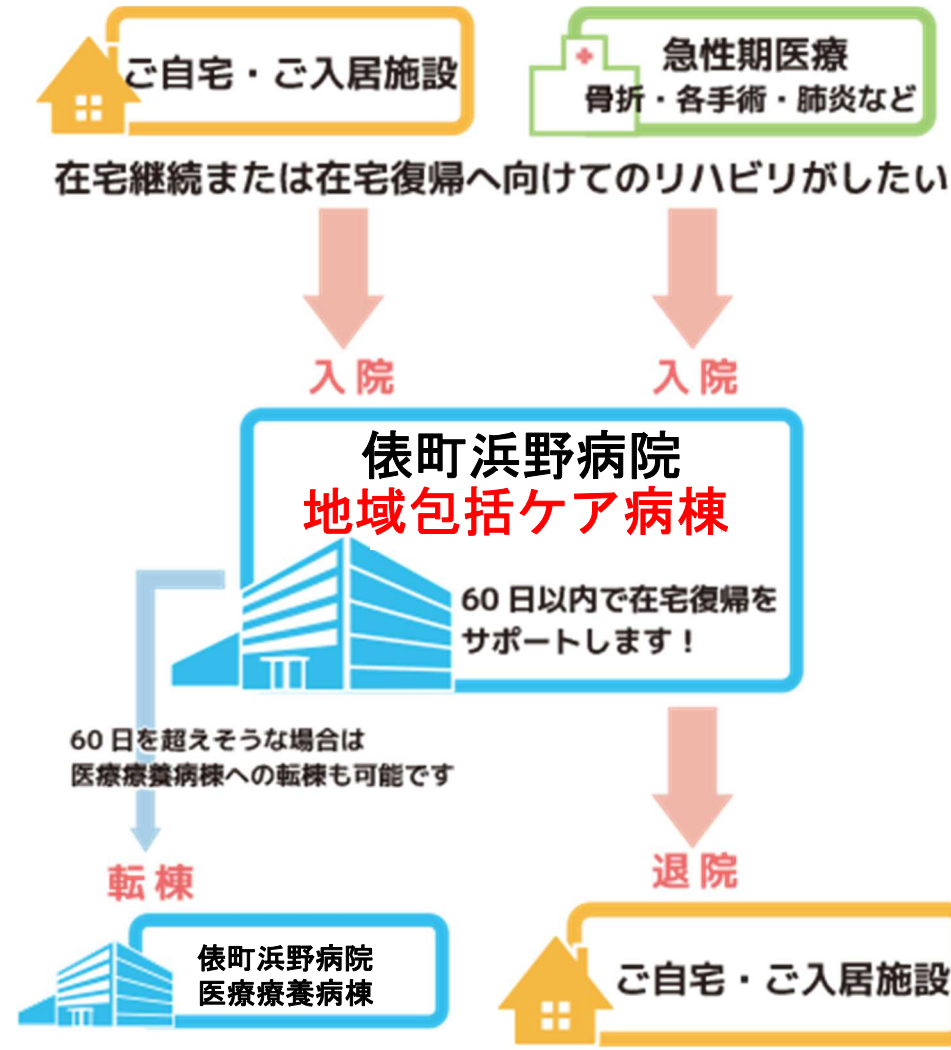


在宅復帰の支援



緊急時の受け入れ

地域包括ケア病棟は2014年の診療報酬改定で新設された、高齢化社会である現代のニーズに応える医療施設です。急性期の治療後、回復に不安のある患者さんを受け入れ、安心して自宅や施設で暮らせるまでの橋渡しを行います。



平成29年10月1日より当院3階一般病棟が地域包括ケア病棟へ変わります

地域包括ケア病棟とは

「地域包括ケア病棟」とは、▼急性期を経過し、病状が安定した患者さんを受け入れ（ポストアキュート）▼在宅や介護施設への復帰に向けた医療や支援を行い▼在宅や施設からの緊急時の受け入れ（サブアキュート機能）の3つの機能を担う病棟です。（3階病棟26床 今後4階病棟の一部も転換予定）

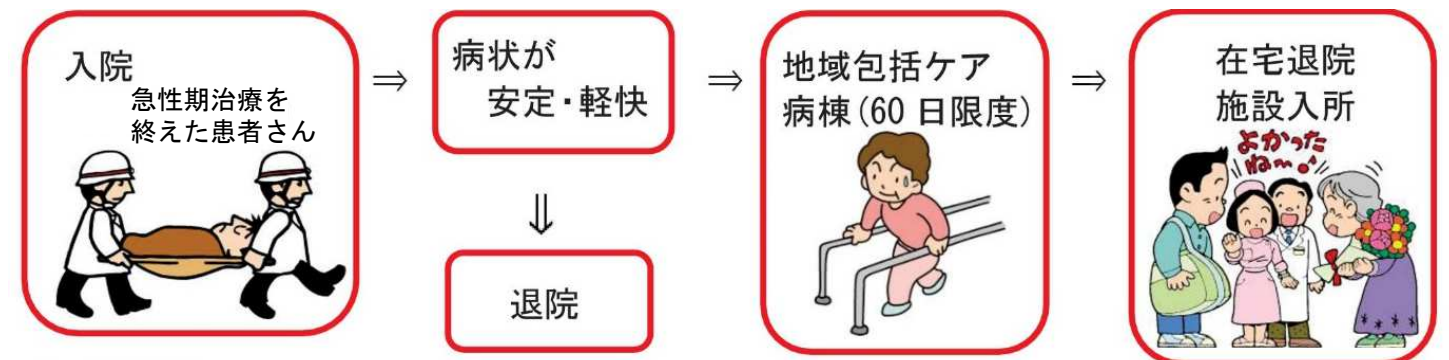
今までは、一般病棟で症状が安定すると、早期に退院をしていただく事になっていました。しかし、在宅での療養や社会復帰のために、もう少し入院治療が必要と判断される患者さんの為に、「地域包括ケア病棟」を設け、リハビリをしっかりと行い、安心して退院していただけるよう支援していきます。

心身の回復に向けて、医師や看護師、病棟専従の理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等により、在宅復帰に向けた治療・支援を行い、また病棟専任の医療ソーシャルワーカーが患者さんの退院支援、退院後のケアについてサポートいたします。（**最長入院期間は60日まで**）

どんな場合に入院となるのか？

在宅あるいは介護施設に復帰予定の方で、主に次のような患者さんが対象です。

- ① 急性期の入院治療（手術・肺炎・心不全・脳卒中・外傷など）により病状は改善したが、もう少し治療・リハビリ等が必要な方
- ② 入院治療により病状は安定し、在宅復帰に向けてリハビリテーションが必要な方
- ③ 在宅での療養準備が必要な方



入院費について

地域包括ケア病棟に入院された場合、入院費の計算方法が通常とは異なり「地域包括ケア病棟入院料1」を算定することになります。入院費は定額で、リハビリテーション・投薬料・注射料・処置料・検査料・入院基本料・画像診断料等のほとんどの費用が含まれています。

治療内容によっては、一般病棟より自己負担金が増額する場合がありますが、月の医療費の負担条件が定められていますので、一般病棟の場合と負担上限は変わりません。（75歳以上ではほとんどの場合増額はありせん）

入院に対する留意点

一般的な血液検査・レントゲン検査・投薬治療は可能ですが、急性期病棟で行うような高額な医薬品の投与や特殊な検査・手術などには対応できません。

病状の変化により主治医が集中的な治療が必要と判断すれば、他院へ紹介する場合があります。

グループホームでは、現在24名の方（満89・6歳です。2016年の日本人の平均寿命は、男性80・98歳、女性87・14歳で過去最高を記録しました。世界50ヶ国・地域で比較すると、日本は男女とも、トップの香港 男性81・32歳、女性87・34歳）に次ぐ2位でした。



グループホームわかば 敬老会の集合写真

